

北海道浮魚ニュース

平成 13 (2001) 年度 13 号 (通巻 No.106)

2001 年 8 月 27 日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-32-7177	Fax : 0162-32-7171
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

道東太平洋スルメイカ南下期調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)により行われたスルメイカ調査結果をお知らせします。

調査期間:2001年8月20日~22日

調査海域:道東太平洋沿岸(図1)

広尾沖で高い分布密度

調査点の表面水温は14~17 でした。西の2調査点が16~17、東の2調査点が14~15 でした。50m深の水温は、St.2が3、残り3調査点が6~8 でした。

4調査点での、スルメイカの平均CPUE*は18.3(昨年:12.8)でした。落石沖の2調査点の平均CPUEは0.2、広尾沖の2調査点の平均CPUEは36.6と西側の方が高い分布密度でした。

スルメイカ以外では、アカイカが11尾、ツメイカが2尾漁獲されました。

*CPUE:イカ釣り機1台で1時間に漁獲するイカの尾数。この数字が大きいほどイカが多く分布している。

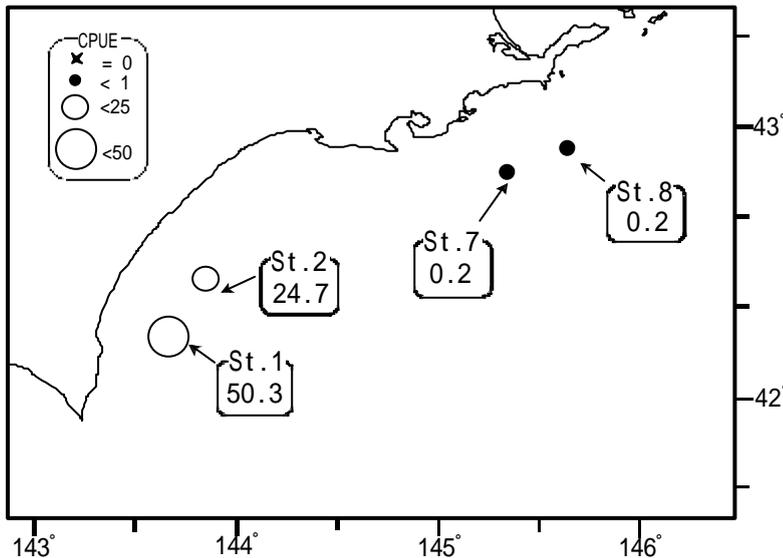
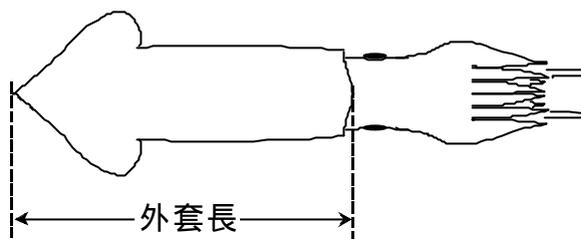


図1 スルメイカ漁獲結果

図中の数字は各調査点のCPUE

漁獲したスルメイカの外套長*範囲は 17～26cm (モード* 20cm) でした(図2)。昨年よりモードが1cm 小さくなっていました。また 26cm にも小さなモードがありました。



*外套長：イカの胴体部の長さ。

*モード：最も多く漁獲されたイカの外套長。

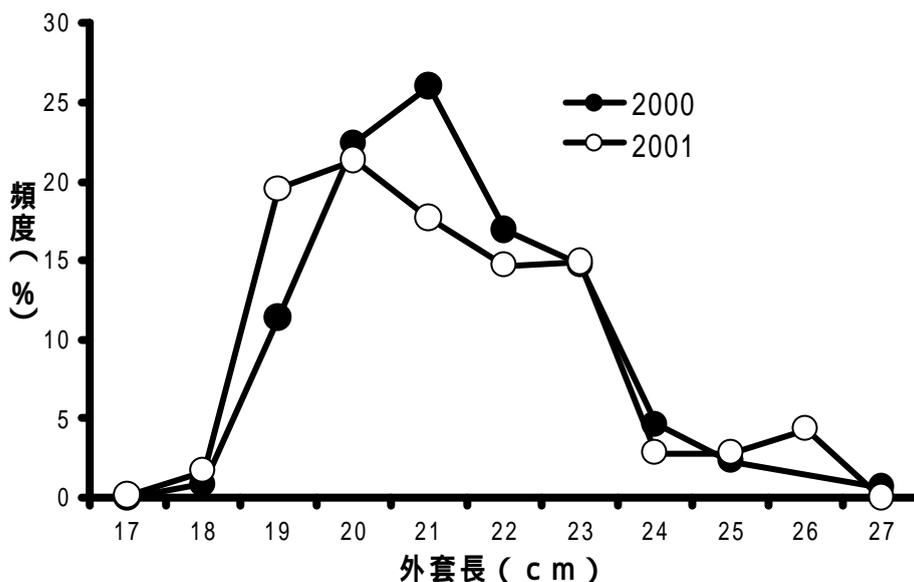
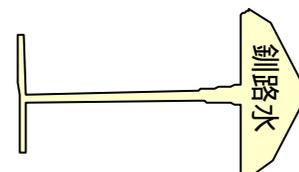


図2 調査海域全体の外套長組成図

St.1 と St.2 で、標識放流を行いました。標識の付いたイカを見つけた方は最寄りの水産試験場までお知らせ下さい。記念品を差し上げております。

放流月日	放流位置	標識タグの色	記号	放流尾数
8月21日	42°26' N 143°50' E	黄色	釧路水	360
8月22日	42°14' N 143°40' E	黄色	釧路水	495



台風11号接近のため、釧路沖4調査点の調査を行えませんでした。

(文責：釧路水産試験場資源管理部
直通電話 0154-23-6222)